

平成29年9月発行

こんにちは！心地よい風が少しずつ増えてきて、秋の訪れを感じられるようになってきました。とはいえまだまだ暑く、子供たちは汗をかきながら帰ってきますが…。そんな暑さが残る9月にはお彼岸があります。この秋のお彼岸に感じることをちょっと書きたいとお思います。どうぞお付き合いくださいませ^^

～秋のお彼岸とおはぎと御先祖様～



お彼岸の過ごし方については、『お彼岸』の7日間は、“いつもよりちょっとがんばって過ごそう、強化週間”みたいなものです。

7日間のうち、6日間は、人に喜ばれることをする（布施・ふせ）／決まりを守る（持戒・じかい）／できるだけ辛抱する（忍辱・にんにく）／一生懸命やる（精進・しょうじん）／一つのことに集中する（禅定・ぜんじょう）／ありのままに物事をみる（智慧・ちえ）を1つずつ実践し、1日はお参りする。

ということを19号（今年3月発行）で紹介させていただきました。

さて、私事です。春と秋のお彼岸にはいつもおはぎを作ります。このおはぎは実家の祖母が作り方を教えてくれました。といっても、“もち米は何合。小豆と砂糖の量は何グラム。…”と事細かに教えてもらったわけではありません。ただ、祖母が作る時にいつも手伝いをしていただけです。正直、めんどくさいな…と思うこともありました。



それでも、子供が生まれてから、なんとなくお彼岸におはぎを作るようになりました。けれどちゃんと教えてもらったわけではないので、あんまり上手にはできませんでした。そんなとき、あるきっかけで祖母に詳しい作り方を聞く機会がありました。知らなかったコツをたくさん教えてくれました。

その祖母も2年前に亡くなってしまいましたが、こうして伝えてくれたことを本当にありがたく思います。亡くなる前に聞いて良かったと思います。まだまだ上手に作ることはできませんが、祖母から受け継いだ習慣を子供たちにも伝えていきたい、とお彼岸が来るたびに感じています。

【今年の秋のお彼岸は20日～26日です。

ご家族皆様揃って、どうぞお寺のご本尊さまやお墓へお参りくださいませ。】

*この『まめこ通信』はお寺のことをもっと知ってほしいという想いで始めました。ご家族皆さまで読んでいただけると嬉しいです◎

編集 東光寺副住職 寺庭 横山 由馨 